

あきいく  
農村集落部門：秋 幾農業創生塾（龍郷町）

○ 活動主体の概要

- ・ 名 称：秋幾農業創生塾
- ・ 代表者：龍宮 省三（たつみや しょうぞう）氏

国の重要無形民俗文化財に指定されている「アラセツ行事」の1つである「ショ  
チョガマ」の継承活動や多様な主体と連携した農村交流活動により、地域活性化に  
取り組んでいる。

むらの目標、将来像

- ・ 話し合い活動を定期的で開催し、住民の合意形成を図りながら、秋名・幾里の両集落が一体となったむらづくり活動を展開している。

「むらのかたち」の実現に向けた取組

- ・ 秋幾環境保全会との連携による多面的機能支払交付金を活用した地域の環境保全に取り組んでいる。
- ・ 焼酎麴用米の栽培により奄美地域で数少ない水田を維持し、生産された稲ワラをアラセツ行事へ提供することで、伝統行事の継承を支援し、休耕田の解消につなげている。
- ・ 秋名集落にあるヒカンザクラのライトアップを行い、地域内外の交流促進につなげている。

多様な主体との連携した取組

- ・ 酒造会社との連携により、オール奄美産を売りにしたプレミアム黒糖焼酎製造に向けた取組として焼酎麴用米を提供している。
- ・ 当組織の活動をきっかけに結成されたNPO法人等との連携によるインターンシップの大学生を受け入れた稲刈り体験や田植え体験などの機会創出により、地域活性化につなげている。

<活動状況>



伝統行事「ショチョガマ」



ヒカンザクラのライトアップ



小学生の田植え体験